

北海道建築士会青年委員会事業報告書

報告件名	本部青年WEB会議（第1回）
報告者	針ヶ谷拓己
開催日時	平成27年4月11日 14:00～17:00
開催場所	—
出席者	針ヶ谷、石塚、原、福澤、北野、山田、小林、永井、大浦、鈴木 岡本

報告内容

《協議事項》

1. 青年建築士の集いについて（石塚）【14:00～14:50】

○担当 ◎石塚、大浦、北野、小林

○日時 平成27年5月16日（土）

○場所 ニセコグランヒラフ マウンテンセンター2階「タンタ・アン」

北海道虻田郡倶知安町山田209

○テーマ 新幹線が夢を運ぶ！！ 倶知安のまちを考えよう

○内容 北海道新幹線が平成42年度に札幌まで延伸することが決定し、倶知安町に新幹線駅ができることとなりました。青年建築士の集いでは、倶知安町民の方々（60名）をお招きして、全道各地の青年建築士（70名）とともに、「新幹線駅」をキーワードに「倶知安町の現在と未来」について、みんなで考え、みんなで話し合います。また、倶知安町長をはじめ、町内会連合会や観光協会、商工会など各団体の代表者をパネリストとしてお招きし、「倶知安のまち」をテーマにパネルディスカッションを行います。

11:00 JR 倶知安駅集合（青年建築士のみ集合）

11:00～11:30 倶知安駅周辺まちあるき

11:30～12:30 昼食

12:30～13:00 移動

13:00～13:30 受付

13:30～14:00 開会・主催者あいさつ・来賓あいさつ

14:00～15:40 ワークショップ（90分）

---休憩---

15:50～16:30 パネルディスカッション（40分）

---休憩---

16:40～17:20 発表（40分）

17:20～17:30 総評・事務連絡・閉会

※町民や他団体を巻き込む事業としたい

※倶知安のまちづくりに青年建築士が参画するファーストステップとしたい

※今後、道央ブロックの継続事業として倶知安のまちづくりに取り組む予定

※PDの時間が短いかもしれない。当日はPDが盛り上がった場合、発表時間を短縮するなどして対応する

※PDは骨格のシナリオのみ作成し、当日はパネリストのコメントに合わせてコーディネーター（石塚）が対応する

○懇親会 ニセコグランヒラフ マウンテンセンター2階「タンタ・アン」

○二次会 倶知安町市街地飲食店街にて開催予定

○会費 懇親会費5,500円、二次会費3,000円

○宿泊 四季ニセコ（コンドミニアム） 宿泊費6,500円

○スケジュール

- ・道央ブロック集い実行委員会による現地視察 (4/25)
- ・パネルディスカッションシナリオの作成 (4/25)
- ・ワークショップファシリテーターシナリオを作成 (4/25)
- ・CPD 申請 (4/上旬)
- ・案内文送付 (4/中旬)
- ・参加者名簿の作成
- ・当日配付資料の作成

○本場で準備するもの

在庫している文房具、パソコン、プロジェクター、宿泊及び懇親会領収書。詳細は4/25の現地打合せにて確定させる

○本部青年委員の役割

テーブルマスター、懇親会の企画運営

2. 建築士 (会) 周知イベントについて (小林) 【14:50~15:40】

○担当 ◎針ヶ谷、小林、石塚、原、永井

○日時 平成27年6月20・21日 (土・日)

○場所 新さっぽろアークシティ サンピアザ 光の広場

○内容 将来を担う子どもたちに建築に興味をもっていただくことや、建築士 (会) のPRを目的に、「建築のお仕事体験」「建築設計実演又は別の何か?」「建築相談」「建築士会活動のパネル展示」を企画する。お仕事体験した子どもたちにはお給料としてイベント通貨「チーク」を支払い、その「チーク」を使って、会場内の駄菓子屋などで好きなものと交換して楽しんでいただける。体験できるお仕事は下記の通り。

- ①すんでみたい「お家」をかいてみよう (道央ブロック)
- ②おりがみで「たてもの」をつくってみよう (道東ブロック)
- ③ブロックで「まち」をつくってみよう (旭川支部)
- ④パズルで「お部屋」をかかんがえよう (札幌支部)

【1日目】 8:00~10:00 会場準備

10:00~12:30 イベント午前の部

12:30~18:00 イベント午後の部

18:00~18:30 片付け (21:00まで人員配置及びパネル展示)

18:30~20:15 社会貢献に関する検討会議

20:30~22:30 懇親会

【2日目】 9:00~10:00 会場準備

10:00~13:30 イベント午前の部

13:30~18:00 イベント午後の部

18:00~18:30 撤収 (21:00まで人員配置及びパネル展示)

※詳細は別紙による

※お仕事体験のバージョンアップを検討 (小林)

- ・BIMハンズオンなどPCを使った、建築士向けセミナー又は子どもたちのお仕事体験
- ・ストロータワー (宗谷支部でも行われた)
- ・札幌支部間取りパズルのバージョンアップ版
- ・会場レイアウトを再検討する (お仕事体験のテーブルは口の字が作業しやすい)

※建築設計実演に変わる何かを企画 (石塚)

- ・お客さんとの相談を兼ねたもの
- ・子どもたちに簡単な立体スケッチの書き方講座 (任意な時間)

※PVを作成する (小林)

- ・建築士の紹介、建築士会の紹介をCM的に
- ・PVは5分以下とし、短い言葉 (キーワード) と画像で表現したい

○スケジュール

- ・札幌副都心開発公社へ催事承認申請及び入館許可申請 (4/末 小林・針ヶ谷)
- ・札幌市へ後援依頼の届出 (4/末 小林・針ヶ谷)
- ・ポスターのデザイン (6/上 小林)
- ・展示パネルの修正 (6/上 石塚、原)
- ・ポスターや展示パネルの出力 (6/上 針ヶ谷)
- ・模擬店の駄菓子やおもちゃ購入 (6/上 小林、針ヶ谷)
- ・備品購入 (6/上 小林)
- ・アンケートの作成 (6/上 針ヶ谷)
- ・建築設計実演の企画 (5/末 石塚、小林、針ヶ谷)

3. 全道大会 (紋別大会 テーマ「オホーツクの四季を編む」) について 【15:45~16:45】

(1) 青年サミット

○担当 ◎鈴木、山田、福澤、北野

○日時 平成27年9月18日(金)

○場所 紋別市民会館 小ホール

○テーマ 「オホーツクの四季から奏でるまちづくり」

○テーマコメント

紋別はオホーツク海に面し、豊かな自然に恵まれており、四季のうつろいが感じられるまちです。夏の涼しさは避暑地となり、屋外のスポーツも快適に行えます。また、冬の雄大な自然がつくりだす流氷は、多くの観光客を魅了しています。しかしながら、紋別市の人口は減少を続けており、中心市街地には空き地、空き家、空き店舗が目立ち、活気が失われつつあります。それに対して、紋別市は中心市街地の活性化のため「紋別市まちづくりビジョン」の策定。そして、今年には「都市計画マスタープラン」が策定され、住民、地域関係者及び行政等が協働し合い、長い歴史や、伝統を活かした将来的なまちづくりの取り組みがされ始めています。我々青年建築士は、現在の紋別を肌で感じ、オホーツクの四季を通して、これから未来へ継いでいく魅力的なまちづくりとは何かを話し合い、考えたいと思います。

○内容 市内をバスで巡り、何箇所かでは降車してまちなみ散策を行い、紋別市を感じとります。会場へもどり、まち巡りの感想等、意見交換を行い、グループごとに春夏秋冬のいずれかを選択し、その季節についての「魅力的なまちづくり」について話し合います。成果品として、テーマ・コンセプト・キャッチフレーズ・まちの特徴を書き出すとともに、市街地図へ具体的に落とし込んだ「魅力アップマップ」を作成します。

13:00~13:30 (30) 受付

13:30~14:00 (30) 挨拶・説明・紋別市紹介

14:00~15:30 (90) まち巡り(移動込み)

15:30~15:50 (20) 休憩

15:50~17:00 (70) ワークショップ

17:00~17:30 (30) 発表(総評 or 感想含む)

※連絡会議ワークショップの経過報告として5~10分の時間をとる。

報告は原副委員長が行う(報告資料作成は針ヶ谷委員長)

※詳細は別紙による

○スケジュール

- ・支部にてサミットの会議 (4/中旬)
- ・テーマ、主旨文の決定 (4/下旬)
- ・詳細企画の検討 (5/中旬)

(2) 分科会

○担当 ◎福澤、永井、大浦、山田

○日時 平成27年9月19日(土)

○場所 未定 ※本大会は紋別市民会館、ホテルオホーツクパレス

○テーマ 「まちなかで考える 空き家とコミュニティー ～建築士としてできること～」

○テーマコメント

近年、社会問題となっている空き家問題。市民生活の安心・安全の面からも問題視されています。ここ紋別市も少子高齢化により人口減少傾向にあることから、さらに空き家は増加していくものと思われま。C分科会では空き家対策に重点を置き、空き家の現状や課題、そして空き家となる要因とその対策や必要な施策を学び、空き家の有効な利活用、そして定住・移住の促進をテーマに議論し建築士として何ができるかを考えていきます。

○内容

13:00～13:10 あいさつ、進行説明

13:10～13:40 空き家問題の現状説明(紋別市役所の方をお願いしたい)

13:40～14:40 ワークショップ

①空き家問題を知る

②空き家の利活用提案

14:40～15:00 発表(最後に常務理事からコメント)

※紋別市役所では、空き家の問題が出ているが、空き家対策の部署が立ち上げられていないため空き家問題の説明者を見つけるのは難しいかもしれない

※空き家問題の現状説明について原則、紋別市役所の方をお願いしたい(上記の件も紋別市としての現状である)。適任者がいない場合は本部青年委員が説明を行う(国交省の空き家関連資料があるので対応可能)

※ワークショップについて、①では紋別市内の空き店舗などモデル事例により、参加者が、行政・建物所有者・行政担当者・商店街会長・町内会長などの立場になって空き家問題や解決策を考える。②では仮想の空き家を想定し、その利活用提案を行う

※企画案について概ね了承を得たので、こちらの内容で企画を進めていく

○スケジュール

・テーマ、テーマコメントの決定(4/下旬)

・詳細企画の検討(5/中旬)

《その他連絡事項》【16:45～17:00】

1. 全国青年委員長会議の報告(石塚)

※別紙報告書による

2. 全道青年委員会連絡会議報告(原)

3. 会誌について

・今回は連絡会議及び青年事業計画を掲載(針ヶ谷)

・次回はお仕事体験イベントについて掲載(小林)

4. 青年サミットのあり方について

青年サミット及び懇親会が本大会前日に行われるため、大会式典や大懇親会の青年参加者が少ない状況にあることから、紋別大会では各ブロック長より各支部青年の方々に、本大会及び大懇親会に出席するよう促していただきたい。なお、本部総務委員会では来年以降、青年サミットの土曜日開催なども視野に入れながら全道大会の検討を進めるとのこと。